

都内病院の経営状況と かかりつけ医機能

2024年11月12日定例記者会見
東京都医師会 土谷明男



最近の医療経営に関する話題

- 病院への緊急財政支援についての要望（四病協から厚生労働省、財務省）
- 医療介護人材の処遇改善
- 補正予算

都内病院の経営状況

- 依然として改善なし

かかりつけ医機能

令和7年4月 制度施行

- 1号機能と2号機能
- 2号機能は地域の病院が中心となって担うべきもの

報告を求めるかかりつけ医機能の内容（主なもの）

1号機能

- 継続的な医療を要する者に対する発生頻度が高い疾患に係る診療その他の日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能
 - ・ 当該機能を有すること及び報告事項について院内掲示により公表していること
 - ・ かかりつけ医機能に関する研修※の修了者の有無、総合診療専門医の有無
 - ・ 診療領域ごとの一次診療の対応可能の有無、一次診療を行うことができる疾患
 - ・ 医療に関する患者からの相談に応じることができること

※ かかりつけ医機能に関する研修の要件を設定して、該当する研修を示す。

※ 施行後5年を目途として、研修充実の状況や制度の施行状況等を踏まえ、報告事項について改めて検討する。

2号機能

- 通常の診療時間外の診療、入退院時の支援、在宅医療の提供、介護等と連携した医療提供

※ 1号機能を有する医療機関は、2号機能の報告を行う。

その他の報告事項

- 健診、予防接種、地域活動、教育活動、今後担う意向 等

令和6年9月5日 第110回社会保障審議会医療部会（資料3）

地域包括ケアシステムは地域の病院が担っている

高齢者に多い疾患を地域の病院が担っている

✓ 誤嚥性肺炎

✓ 尿路感染症

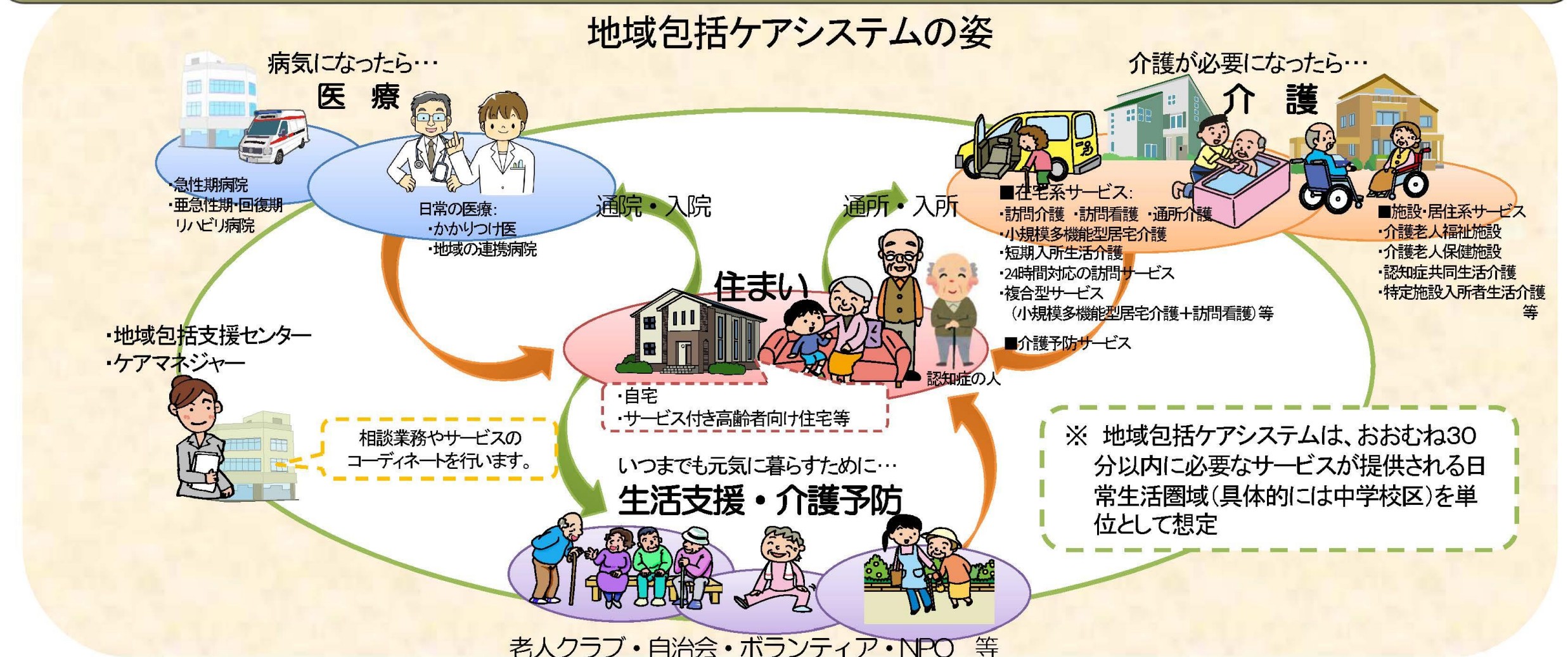
✓ 心不全

✓ 脳卒中

✓ 骨粗鬆症・大腿骨骨折など

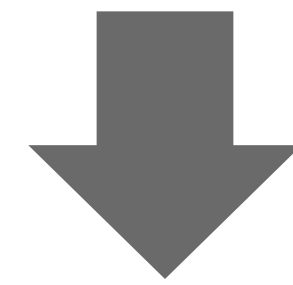
地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**必要があります。



厚生労働省ホームページより

地域の病院の崩壊



地域包括ケアシステムの崩壊 かかりつけ医機能の不全

東京都独自の入院基本料の創設

地域包括ケアシステムを支えるために

